



# しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3  
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

## 【目次】

P2-3 効果的な施設案内PTからの発信  
P4-5 環境教育フェスタ  
P6-7 環境学習発表会・展示発表会

P8 第4回市民研究員研修講座  
P9 環境学習支援から  
P10 3月と4月の予定

発表会は資源循環工科大学の研修室で開催(受付)

発表会開催にあたり後藤市長のご挨拶



①北山田小  
「住みよい町を作るには」

## 第19回環境学習発表会開催

②ガールスカウト  
「街の宝物 吹田くわい」



③千里第一小  
「環境問題」

④吹田東小  
「守ろう! 私達の地球」

⑤東山田小  
「環境のためできること」

⑥藤白小  
「外来生物と身の守り方」

⑦片山中  
「水の透明度の観察」

## 第19回環境学習展示発表会



展示一例  
「ごみのゆくえ新聞」



展示一例  
「くわいの新聞」



展示一例  
「浄水場新聞」

## 2018 ずいた環境教育フェスタ同時開催



フェスタ会場にはすいたんも駆けつけました。



研究所の展示と手作りおもちゃ等のイベント開催



施設案内の受付



他団体の展示

2/3 エネルギーセンターにて、環境学習発表会をプラザにて、展示発表会をずいた環境教育フェスタを昨年とは会場を変えて、今年はプラザにて同時開催しました。



# 効果的な施設案内プロジェクトチームからの発信

## 効果的な施設案内 PT

○井上 衣子

2014年4月に市民研究員になりました。参加したPTで、見学に来る子どもたちや一般の人々に、破碎選別工場での再資源化にはごみの分別が重要なことや、市民工房で行われているリユースやリサイクルの方法を伝えます。

また、「3R」の啓発では、ごみを減らす、物を大切に使う、資源を有効に活用する、といった環境にやさしい生活で、資源を繰り返し利用する「循環型社会」を目指し、社会のあり方を変えなければならないことを話します。2018年4月からは、新しく、「施設案内専門員」として約6000人を施設案内します。

○小原 淳男

ガイドを勤めてはや3年余。月日はめまぐるしく、あっという間だった。

「ごみ」問題。ガイドの貴重な経験をしなかったら、漫然と暮らして、この問題も単なる「人任せの対岸の火事」同然で、社会生活の営みに欠かせない問題なのに、お題目を唱えるだけで、終わってしまっただろう。ガイドになって、人に説明する上は、自分なりに、問題を正面から見据えて、見なければならぬ。

幸い吹田市は、過去にこの問題を先進的に取り組み、実績を上げてきた。問題を意識し、一つの回答を用意して、市民の啓発に努力してきた。

遠い将来も見据えて、地球規模の快適環境維持のために、ごみ排出の減少に取り組み、行政の処理に市民として協力する。その啓蒙活動の先兵が、この仕事だったと自覚して懸命に情熱を注いできた。

ドンキホーテと思わないで欲しい。そして、関係者全員が仕事に情熱をもって、これからも頑張っていくようお願いしたい。

○金子 幸平

なんとと言っても、小学四年生の子ども達は素直でかわいい。

私が施設案内を担当する数は少ないけれど、担当の日は心が躍る。今日こそは、しっかり案内をしなければと思う。この資源リサイクルセンターで、子ども達が、家庭で分別された廃棄物がさらに人手をかけて分別している現場を目の当たりにして、3Rのことを理解してくれたら嬉しい。

○椎橋 保彦

中央操作室の危険物監視窓は小学4年生に人気がある場所です。大型複雑ごみを、手作業で燃えないごみと燃えるごみに分別された後の次工程を学ぶ場所です。

ガラスの上に乗らないように指導をしてから、児童達は恐る恐る下を覗いてベルトコンベヤーに乗って流れて行くごみを観察します。ガスボンベ等危険な物が混ざっていないか監視をする為の場所ですと、説明をします。下を覗きながら児童達の元気な声や笑い声が弾みます。その場所からいつまでも離れたくない様子が伝わってきます。施設案内にやりがいと生きがいを感じながら楽しくこれからも続けます。



<中央操作室の見学の様子>

# ～施設案内プロジェクトチームを終え、施設案内専門員としての新たな活動に向けて～

効果的な施設案内 PT

○下村 敬三

約4年前、施設案内プロジェクトチームの人員強化のため、今は亡き加藤さんから要請され、当時は、15人体制で始まり、吹田市内小学校4年生、他市の小学生、一般団体他、年間に66回、111人の市民研究員の担当、約5,400人の案内であった。今年度の3月末の予定では、約120回の案内、約200回の市民研究員の案内、約6,500人の見学者で、プロジェクトチームの活動が終わる予定である。

この4年間の、見学者の動向で、吹田市の36校小学4年生は、4年前では、3,500人、今年度は約3,300人と微減であったが、吹田市内の、住宅建設がここ1～2年でかなり増加の傾向であり、人口増加の傾向に伴い、小学生も増加するのではと思われる。

他市の小学校の見学もこの4年間微増、一般団体は、増えたり減ったりであった。特に増加したのは、海外からの見学者、4年前は0人でした。今年度の予定では、約500人を超えようとしている。昨年の夏には、中国の中高生が、修学旅行で東京、大阪とまわり、207人の見学者があった。

吹田のごみ処理施設を海外の見学者が増えるのは、大変意義があり、吹田市のゴミ処理、及び施設の様子を海外にアピールできる事は、案内する価値があると思われる。

年々施設見学者が増加の傾向を踏まえて、来年度からは、施設案内専門員としてなお一層の努力が必要であり、あらためて、各自が施設案内事業の重要性を認識せねばと思う。吹田のごみの状況をよく把握して、案内に生かせるよう努力せねばと思う。



＜案内の様子＞

○事務局より

今まで、吹田市資源リサイクルセンター（破碎選別工場及びくるくるプラザ）の施設見学者を案内するために活動していた施設案内プロジェクトチームは、今年3月をもって活動を終了し、施設案内業務は、今後新しくプラザ運営全体に関わる、「くるくるサポーター」の施設案内専門員に引き継がれます。

今まで効果的に施設案内をするために、吹田のごみについて行ってきた調査研究部分は、今後新しく立ち上げる「ごみ調査・研究プロジェクトチーム」が担い、調査・研究の充実に努めます。

☆募集中!



ごみ調査・研究  
プロジェクトチーム

吹田市のいろいろなごみの排出量や再生資源化などについて、調査・研究を行い、その実績を他のプロジェクトチームへ情報提供、学校への学習支援、出前講座による市民への啓発活動などに活用します。

まだ立ち上がったばかりのチームで、4月から本格始動するため、ただいまメンバーを募集中です!

この機会に今まで以上に多くの方に資源リサイクルセンターについて知っていただきたいという思いと、新たに施設案内専門員として参加していただく方が、ごみ減量という課題に対し、自らの思いを伝えていただく取り組みになればと考えております。ぜひ、多くの方々の応募をお待ちしています。

サポーター登録について、詳しくはホームページまで。 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

# 第19回環境学習発表会広がれ！環境の輪 参観記

手作りおもちゃと環境PT 茶園征也

平成30年2月3日（土）12時半から吹田市資源循環エネルギーセンター研修室において、第19回環境学習発表会が開催されました。市内の小学校から5校、ガールスカウト大阪府第21団の児童と今年は中学校から1校 計7団体が環境に関する活動を発表されました。会場は、発表を待つ児童で満席となり、保護者やその他の参観者は立ち席となる盛況ぶりでした。

はじめに主催者代表の西川理事長の開会の挨拶、続いて後藤市長が「環境って何だ？」と問いかけ、環境について考えるこの発表会に対する期待を述べられました。今回臨席されていた渡嘉敷環境副大臣が、環境問題は一つの国だけではなく、世界の多くの国が協力して取り組む必要性を強調されました。



<後藤吹田市長と渡嘉敷環境副大臣>

前半の部

- ① 「住みよい町をつくるには」  
北山田小学校 4年
- ② 「私達の街の宝物「吹田くわい」」  
ガールスカウト大阪府第21団
- ③ 「環境問題」  
千里第1小学校 4年
- ④ 「守ろう！私たちの地球」  
吹田東小学校 4年1組

後半の部

- ⑤ 「環境を守るために私たちにできること」  
東山田小学校 4年
- ⑥ 「特定外来生物の危険性とそれからの身の守り方について」  
藤白台小学校 4年

- ⑦ 「手作り透視度計を使った水の透明度の観察」

片山中学校 理科部



<発表の様子>

どの学校でも「3R」についてや、ごみの分別が、ごみの減量に役立つことなどをよく勉強し、正しく理解している発表で、心強く感じました。また、これらのことや水の大切さなどは、環境関連施設の見学などを通して学んだことが悦明され、現場を見て学ぶ大切さを痛感しました。我々市民研究員として、学習支援活動の重要性を再認識しました。

吹田東小学校の発表は、昔話の桃太郎をもじった寸劇が良くできていました。すいたろう（桃太郎）が環境に悪いことばかりする鬼を改心させる話で、ごみに詳しい猿（こさるもんきち）、水に詳しい犬（こいぬけんすけ）、森に詳しいきじ（とりのすけ）を引き連れて鬼を改心させるという良くできた話で感心しました。

また、藤白台小学校の「特定外来生物」はその危険性など大変勉強になりました。

片山中学校の手作り透視度計は、透明度を客観的に数値化する工夫が素晴らしく、今後の活動に期待したいと思います。

発表の後、吹田市教育委員会の坂下指導主事の的確な講評の後、吹田市環境部の中野部長が、吹田の子供たちが、環境について考えてくれていることが喜ばしいし、このような仲間を増やし続けて「環境の輪」を広げてほしいと結ばれ、盛会裏に発表会を終了しました。

## ●参加児童の感想

- ・これからもちょっとでも省エネに取り組もうと思った。
- ・もっといろんな人に「すいたくわい」を知ってほしいと思います。
- ・知らないことが知れておもしろかったので、またやりたいと思った。
- ・他の学校は資源のことについて水・木などについてしていたので、私も調べてみたいと思った。
- ・これからも生きて行くために環境のことについて考えないと思った。
- ・クイズを使うとわかりやすく伝わると思いました。ごみの少ない社会が大切なことだとわかりました。  
もっとたくさんの人に知ってもらって、環境に良い世の中になったらいいと思いました。
- ・どこの発表もさまざまな環境のことを学習していて、いろいろなことを学べたなと思った。今回学んだことを活かしていきたいと考えた。
- ・発表は緊張したけど、大舞台で成功して良かったです。発表の大きな一歩になりました。
- ・環境のことについて少しでも詳しくなれて良かったと思いました。
- ・環境はとても大切だということがよくわかりました。これからは環境を大切にしたいです。
- ・環境は環境でも、動物や植物、地球温暖化など様々なものがありました。なので、いろいろな環境について調べてみたいです。
- ・この発表では、自分たちの発表も良かったと思っただけど、他の学校の人たちも知らないことばかりで、すごく勉強になったと思いました。
- ・環境学習会に参加して、環境の大切さを学びました。他の学校の発表を聞いて初めて知ったことや驚いたものもありました。私は環境というのは一人一人が守っていかないといけないものだと思います。
- ・他の学校の人たちが歌を歌っていたり、踊っていたり、劇をしながらはっぴょうしていたりして、みんなが笑っていたりしてすごいなと思いました。
- ・環境学習発表会ってなんなんだろうと思い、環境学習発表会に行くことにしました。練習は大変だったけど、自分が頑張れると思ったから頑

張りました。

- ・環境のことをよく知れてよかったと思いました。
- ・私は「環境学習発表会」に参加して本当に良かったなと思いました。わけは、私たちが調べたこと以外にも「環境」について知れたからです。もっといっぱい環境について知りたいです。
- ・私は環境学習発表会に参加してとても良かったです。何故かというと、環境の大切さがわかったし、初めて知ったことがたくさんあったからです。私は今まで環境に悪いことをしていたかもしれないけど、これからは環境を大切にしていこうと思います。環境学習発表会は、とても勉強になったし、楽しかったです。
- ・特定外来生物のことについて発表していて、私もこれから気をつけてセアカゴケグモなどから身を守って行くことを学習しました。
- ・水や、紙や、わりばしなど、無駄遣いしてはいけないなと思いました。
- ・環境って色々な意味があるんだということや、環境の事についてわかりました。環境でも発表を見ていると、水・ごみ・自然・木・エネルギーなどたくさんの種類にわかれていたし、発表する用紙、読む用紙を作る時に、「なるほど」と色々な自然、環境について学べて、環境って面白い、私たちもやってみよう！と思ったこともありました。
- ・参加してよかったと思います。私たちの地球のことがよくわかりました。水も大切にしないとだめだなと思いました。
- ・環境の問題のことを、自分の発表や他の人の発表を聞いてよくわかった。なので、お母さんやお父さんと節水やリサイクルに取り組んでいきたいです。
- ・環境学習発表会に参加して、環境のことについて、あらためて考えられた。そして、もっと環境の事をたくさんの人に知ってほしいと思った。
- ・こういう機会があって、みんなが環境について考えられるからいいと思う。
- ・他の学校で調べたことなどを聞いて、いろいろ参考になることがあって、出て良かったと思った。環境について、もう一度考えようと思った。
- ・水や資源は、限りあるものなので、大切にしたいと思った。

# すいた環境教育フェスタ 2018

運営委員会 委員長・施設案内PT 下村 敬三

日時 2018年2月3日(土) 10:30~15:30

会場 くるくるプラザ

(吹田市資源リサイクルセンター)

過去、「すいた環境教育フェスタ」は主にメイシアターで開催されていたが、メイシアターが工事中で、今回初めての「くるくるプラザ」での会場となった。来場者は約700人であった。

参加団体も従来の環境団体、企業会社関係、大学関係であったが、今回初めての企画があった。

- ・環境政策室による「リユース服」の無料配布
- ・ノルディックウォーキングの体験会があった。

リユース服は、市内の保育園、幼稚園からの提供で、約3,300点用意された。朝から、整理券を用意しての対応で、たくさんの希望者であふれた。約1,600点の配布とのことであった。吹田市では、初めての試みであったと聞く。

最近、おもちゃのかえっこバザール等、市内でも多くの開催があり、おもちゃ、服などの、リユースが進んでいることは、プラザもあげもら(あげます・もらいます)を長くやってきたので、このような企画が進むのは望ましい事と思う。

ノルディックウォーキングも午前一回、午後一回の体験会で、道具も用意され多くの参加者で、4階の広場以外に外に出たウォーキングでした。プラザも年一回、ごみゼロウォークを行っており、このような企画が環境イベントに加わることは、目新しくいいのではと思われる。5階において、大学関係のブースがあり、学生による、環境イベントをしており、参加が多かった。参加団体は、常連の20団体で、毎回行われる、クイズラリーで子供たちが走り回っていた。これも約18か所のブースで行った。

さて、くるくるプラザとしての参加は、市民研究所の、施設案内プロジェクトチーム(PT)、手作りおもちゃと環境PTがイベント参加した。

●施設案内PTは、せっかくプラザに来場されるので、「すいたごみ処理施設見学会」資源循環エネルギーセンター、破砕選別工場、工場の案内を企画した。

当初は、時間のこともあり、又リユース服の無料配布が人気で、施設見学はあまりないのではと思い、3施設のパンフレットも30セット用意した。10時から受付を始め、オープニングセレモニーが終わったところで、なんと、約73人の申し込みがあり、最初見学者案内人の予定が2人だったため、あわてて、1人増やして、3人で、3班に分かれての案内となった。

産経新聞の記者さんも同行され、明るく日の新聞に、施設案内の記事が掲載された。12時には、全員見学が終わり、案内役全員、参加者の多さにびっくりしながらも安堵した。

●手作りおもちゃと環境PTのブースは、「十字プロペラ・からくり屏風」を用意した。プラザのイベントセールの際のように場所も同じように設置した。

市民研究所、各PTのポスターも周りに展示して、プラザコーナーを強調した。

午前中は、午後から行われる学習発表会の子どもたちが体験してくれた。午後になり、学習発表会が終わった子どもたちがどっと来てくれて、終了時間の、15時30分をこえて、約75名の体験でした。フェスタの参加者では、過去最高の体験者となった。手作りおもちゃのメンバーの方も大忙しの日となった。



<手作りおもちゃと環境PTのブース>

# すいた環境教育フェスタ 2018

市民とお店をエコでつなぐPT 糸永陽子

環境教育フェスタとは、人と環境とのかかわりについて、市民、事業者、学校、行政などが協力関係を深め、環境保全活動を促進していく為にそれぞれが発表する場です。

今年は、吹田市資源リサイクルセンターで行われました。

## ロビー (B棟 5階)

幼児、子供服のリユース (1人5点まで無料)が行われました。この物品は市内の幼稚園や保育園などから提供されたもので、3,000枚以上集まったそうです。成長の早い子供さんのいる家庭にとっては、ありがたい企画だと思います。

小さな子どもを連れた家族で賑わっていました。

## ロビー (B棟 4階)

3Rの啓発として、おもちゃ作りのブースでは、「十字プロペラ」と「からくり屏風」作りを行いました。午前中に41人、午後に34人と大盛況。対象は幼児から低学年です。こどもたちが作ったプロペラはよく廻り高く飛ばして、キャーキャーと賑やかな歓声。その中に親子づれの方がいて、親子のほほえましい光景が見受けられました。また、おばあさんが来られて、孫の為に、材用を持ち帰られた方もいたようです。



<おもちゃ体験の様子>

また、行政・事業者のそれぞれのブースではクイズ問題を18問用意。スタンプを10個以上集めると景品をプレゼントすることになっています。参加者は各ブースで環境学習を楽しんでいるように思いました。

## マルチホール (C棟 4階)

○給茶コーナーがあり、マイボトル、マイカップを持って来た人に暖かいお茶を提供してもらえたので、寒い日の温かい飲み物でホット一息つくことができました。

○わたしたちは、マイバッグ推進協議会の応援でエコバッグに絵を描いてもらい、マイバッグ持参をお願いしました。

用意していたエコバッグは2時30分頃に無くなり、環境学習発表会に行っていた子どもが駆けつけてくれたのに配布できなかったのは残念でした。

## <ごみ処理施設見学会>

### 資源循環エネルギーセンター、破砕選別工場 プラザ市民工房

今年は、会場が資源リサイクルセンターということで、来場者向けにごみ処理施設の見学会を開催し、市民研究員が案内をしました。すいた環境教育フェスタでは初めての試みで、大勢の方の参加がありました。



<施設見学受付の様子>

## ホワイエ (C棟 4階)

災害時に汚れた水を飲用可能な水にできる災害用浄水器などの展示もあり、東日本大震災や熊本地震の際にも、給水支援をされたそうです。被災者の方々も助かり、喜ばれたのではないかと思います。

今回感じたことは、現在の環境をより良くするために、たくさんの皆さんが努力されていることです。

私も微力ながら、身近にすぐ出来る事から取り組んでいこうと思いました。

新しい年を迎えたばかりの1月6日(土)市民研究員講座「研究所の今後のあり方」を受講するため、気持ちも新たに千里リサイクルプラザに向かいました。内田主任研究員より、環境問題に対する一般的意識や、25年経過した研究所の課題、若者の環境に対する意識などについての講義を受けました。

環境に関する3つの意識調査から次のような傾向がわかりました。59.1%が環境の変化は悪くなっていると感じ、気候変動や温暖化については90.9%が心配していて、気候の変化の原因は人間の活動に原因とと思っているのは90%以上、72.6%の人がライフスタイルの変更を意識していました。そして年代別では60代~70代の関心度が高く20代は最も低く、男女別では女性全般でエコ活動に積極的で、特に30代~60代の女性の意識が高いことがわかりました。上記のことから、この国全体としての環境問題への意識は決して低いものではないことが示され、世代間の意識の格差、男女間の格差もあることがわかりました。

次に千里リサイクルプラザ研究所についてお話されました。1992年設立、1993年5月に創刊された「研究報告書」の「冒頭言」を紹介され、市民研究の意義と役割を示した末吉富太郎初代所長の「総説」も機会があれば読んでほしい、崇高な理念をかかげて作られたプラザのことがわかる、とのことで是非読んでみたいと思いました。研究所は25年を経て、「一種のマネリ感」が出てくるのはやむを得ないことだが、昨年土屋所長のもと研究所のあり方をめぐった検討委員会が立ち上がり10月に検討会報告書(たたき台)がまとめられたことを述べられました。

検討すべきことが山積みであると思う中、内田先生のお考えになる最重要課題を2点指摘されました。1. 研究員の固定化、高齢化で若年層が入ってこないこと。2. 「研究」と「実践」の関係をどう考えていくか、で、現在は環境学習支援を始めとした「実践」を中心とした活動

が増えており、皆さんもこの事を考えてほしい、とのことでした。

若者の環境に対する意識が低いと言われていますが、2016年の環境省の調査によると、高校生を特化してみると、統計的には関心がないようです。ところが一方で環境活動への協力意識は、参加したい、できれば参加したいが合計で5割弱、関心はないと言いながらも、何とかしないといけないという考えは有ります。如何にして若者を取り込むかが問題で、利益がないと動かない実利主義の傾向がある、とのことです。若者向けのエコを意識したイベントなどの紹介をされ、若者が入りやすい身近なイベントから、環境のことを考えるきっかけ作りが必要だと思いました。

「研究」という面を充実させるため、吹田に5つもある大学が各大学の環境に関する講座やゼミに研究所が積極的に関与していく、この部分で「主任研究員」の役割も生きてくる、とのことをお考えを示されました。最後に関西大学経済学部の良永ゼミが作成した「ごみ冊子 H27年度版」が紹介されました。『ごみの有料化はごみの減量に効果がある。全国の自治体で56.2%が有料化になっている中、吹田市は有料化せずにごみの減量に成功した。その理由は従来の分別に加えて新たな資源品目を回収し積極的にリサイクル活動を行っているため。ごみの有料化または完全指定袋制で、より一層のごみ減量が期待できるだろう』と書かれています。箕面市、豊中市など近隣都市でも有料化になっています。吹田市もそうなるのは近いのでしょうか？



< 講座の様子 >

# 環境学習支援 小学校の子ども達に「電気の話」をしています

エコ体験プロジェクトチーム 金子 幸平

右の図は日本の2013年度の発電構成比率を示したグラフです。皆さんは、このグラフを見てどのように思われますでしょうか。

例えば、

A. 原子力発電に反対する人は、2013年に原子力発電の稼働率が0%になったことを知って、未来永劫このまま推移してほしいと念願するでしょう。

B. 人によっては、石油火力・LPG火力・石炭火力いわゆる化石燃料火力発電の合計が87.7%に、こんなに多いのかとびっくりして、これでは地球温暖化が止まるわけがないと嘆くのではないのでしょうか。

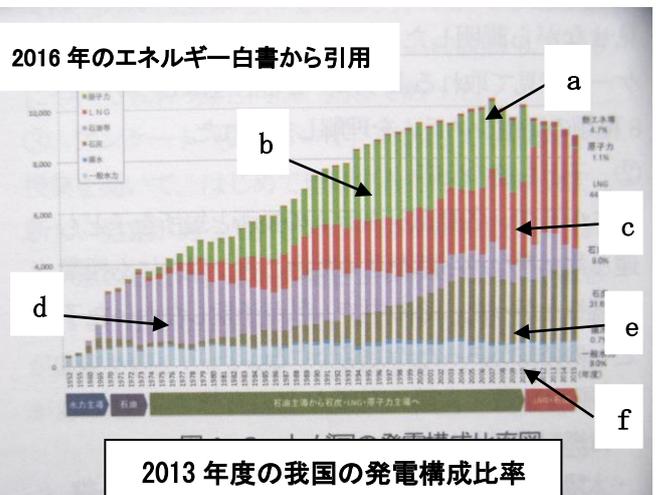
C. またある人は、新エネルギー発電(太陽光発電・風力発電等)の稼働率が3.2%に、予想外の少なさに失望するかもしれません。

D. ある人は、石炭火力発電の稼働率が年々増加しているのを知って、石炭を燃やすとCO<sub>2</sub>を多量に排出するので“これはヤバイぞ”と心配するでしょう。

私達エコ体験プロジェクトチームは、小学校のクラブ活動の時間を借りて、長年、子ども達に環境学習支援をしています。

この度、環境を切り口とした「電気の話」の学習ツールを作りました。私達は、2016年度から電気の作り方と設備について研究をし、そして資料を集めた結果、ようやく完成したところで、ある小学校でトライアル授業を行いました。その結果は、思った以上に子ども達に好評でしたからとても嬉しく思いました。

今のところ「電気の話」の授業をした学校は3校だけですが、来年度(2018年度)は、数多くの学校で授業をしたいと意気込んでいます。そして、こども達が、私達の意図することを少しでも理解してくれるように、更なる改良を重ねていきたいと考えているところです。



ラベル	発電方法	割合
a	新エネルギー発電	3.2%
b	原子力発電	0%
c	LNG(天然ガス)発電	46.1%
d	石油火力発電	10.6%
e	石炭火力発電	31.0%
f	一般水力発電	8.4%

電気の話は、子ども達に8種類<sup>(注)</sup>の発電施設についてパワーポイントで説明します。8種類の発電施設の中で、太陽光発電を除いた7種類が翼(風車等の羽)の回転運動による発電です。翼の回転運動のエネルギーは蒸気圧力であり風力であり水力です。それから、子ども達と一緒に8種類の発電施設の様々な長所と短所を話し合います。例えば、翼を回転させるエネルギーのうち化石燃料は資源が有限で、その上お金をかけて輸入しているし、CO<sub>2</sub>を排出する短所があるが、安定して大量に発電できる長所がある。一方、自然エネルギーの原料は無限度で原料代はタダ、CO<sub>2</sub>排出ゼロなどの長所があるが、不安定で大量に発電できない短所がある。など。

子ども達が、様々な発電施設での電気の作り方によって、それぞれに長所と短所があることを知ってほしいと思っています。

(注)私達は、現在の発電施設を風力発電・水力発電・地熱発電・バイオマス発電・ごみ焼却発電・火力発電・原子力発電・ソーラー発電の8種類に分類しました。

研究所 3 月の予定

日 曜	催 し	時間・場所	備考
1 木			
2 金	施設案内(地球環境センター)	10:00~12:00	施設案内PT
3 土	代表者会議	13:15~15:00 講義室1	主担・代表者・事務局
	エコ体験PT定例会	10:00~12:00 研究室	エコ体験PT
4 日	手作りおもちゃと環境PT定例会	13:00~ 研究室	手作りおもちゃと環境PT
5 月	休館日		
	環境学習支援(水の話)	14:40~15:25 高野台小学校	エコ体験PT
6 火	温暖化と生活PT定例会	10:00~ 研究室	温暖化と生活PT
	施設案内PT定例会	13:30~ 研究室	施設案内PT
7 水	施設案内(開成アカデミー日本語学校)	10:30~12:00	施設案内PT
8 木			
9 金			
10 土	ぐるぐるフォーラム「リユース食器は地域社会にどう貢献できるか」	14:00~16:00 千里山コミュニティセンター	市民・市民研究員等 ●
11 日	エコイベントPT定例会	10:00~ 研究室	エコイベントPT
12 月	休館日		
13 火			
14 水	施設案内(韓国サンジュ日本先進産業視察)	10:00~12:00	施設案内PT
	市民とお店PT定例会	13:30~ 研究室	市民とお店PT
15 木			
16 金			
17 土			
18 日	ぐるぐる春フェスタ	10:00~14:00	ぐるぐるプラザ広場 ●
19 月	休館日		
20 火			
21 水	春分の日		
22 木			
23 金	施設案内(和歌山市生活学校連絡協議会)	13:00~14:30	施設案内PT
24 土			
25 日			
26 月	休館日		
27 火			
28 水			
29 木			
30 金			
31 土			

研究所 4 月の予定

日 曜	催 し	時間・場所	備考
1 日			
2 月	休館日		
3 火			
4 水			
5 木			
6 金			
7 土	30年度市民研究員委嘱状 交付式	13:00~13:45	講義室2
	PT全体会議及び定例会	14:00~15:00	
	各プロジェクト定例会	15:00~15:40	
8 日			
9 月	休館日		
	吹田市小学校4年生施設見学説明会	14:30~ エネルギーセンター	小学校・エネルギーセンター・事業課・教育委員会・事務局
10 火			
11 水			
12 木			
13 金			
14 土			
15 日	第25巻 研究報告書 原稿締切		
16 月	休館日		
17 火			
18 水			
19 木			
20 金			
21 土			
22 日			
23 月	休館日		
24 火			
25 水			
26 木			
27 金			
28 土			
29 日	昭和の日		
30 月	休館日		

は、資源リサイクルセンター(ぐるぐるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。